

ジモトで座談会 里山辺地区報告レポート

1 趣旨

地区の特徴と課題を基にテーマ設定し、地区の代表者等の意見、要望を市長が聴くと同時に、参加者とのディスカッションをする地区別の公聴事業で、松本市と松本市町会連合会が共催で実施したものです。

今回、里山辺地区では以下の4つのテーマについて市長と意見交換しました。

【里山辺地区テーマ】

- ① 松枯れ木の倒木による鹿防護柵の倒壊
- ② P T Aの在り方見直しにおける個人情報の取扱い
- ③ お船祭り
- ④ 美ヶ原温泉

2 日時等

- (1) 日 時 令和6年10月24日(木) 午後6時30分から9時10分まで
- (2) 場 所 里山辺公民館2階 大会議室

3 参加人員

臥雲市長ほか41名(市関係者6名、参加者19名、傍聴者12名 報道関係者2名、センター職員2名)



4 プレゼンテーション

各テーマについて、プレゼンテーションを行いました。

(1) 松枯れ倒木による鹿防護柵の倒壊

内 容	要望事項
<ul style="list-style-type: none"> ・ 地区内では松枯れ被害にあった松の倒木により、鹿防護柵の倒壊が起こっている。 ・ 維持管理は地元住民が行うこととなっているが、担い手の高齢化や大木を片付ける際の危険性など、課題が多い。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 松枯れ木は市が予算措置を行い、今後伐採が進むが、松枯れ木により壊れた防護柵の修復について、市に支援を要望



(2) P T Aの在り方見直しにおける個人情報の取扱い

内 容	要望事項
<ul style="list-style-type: none"> ・ 市内で見直しが進んでいる標記の件について、里山辺でも動きがある。 ・ P T Aが完全任意加入となった場合、町会等の個人情報取得が困難となること予想され、行事への子どもの参加について平等性が損なわれる可能性がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 市から学校側に個人情報提供についての働きかけ、または何らかの方策を検討いただくことを要望



(3) お船祭り

内 容	要望事項
・ 歴史や見どころ等の紹介	・ 観光プロモーションによる外部への周知を要望



(4) 美ヶ原温泉

内 容	要望事項
・ 歴史紹介 ・ 昨年からワインの醸造を始めた旅館の紹介	・ 台上を含む東山の一層の 観光振興と温泉地への支援の拡充を要望



5 テーマ別意見交換

(1) 松枯れ木の倒木による鹿防護柵の倒壊

ア 参加者

- ・ 地元の維持管理の担い手の高齢化が著しい。市からの倒木撤去委託料も不足している。ぜひ委託料の上乗せをお願いしたい。維持管理についても市のほうで業者に直接委託して修復してほしい。
- ・ 鹿対策に防護柵は有効と考えている。松枯れ木はここ5年くらいで広がり、山に入ると恐怖心を感じる。
- ・ 松枯れ木がちょっとした風でも倒れて柵を壊し、何度修復してもまた壊れる状況である。
- ・ 林大城・小城について、国指定史跡になったことで観光客が多くなっている。危険な松枯れ木の伐採をお願いしたい。
- ・ 今後、山側の農場以外にも被害拡大が懸念される。駅前に鹿が出現するなど農業被害に留まらない可能性が出てきているので、市としても積極的な対応をお願いしたい。
- ・ 直近の防護柵の大きな被害は修復できた。想定外は松枯れだと思う。近々の課題として湯の原林道の出入り口の部分への対策もお願いしたい。今後として、未来の子供たちのために山の再生も考えていってほしい。



イ 市長、関係部局（産業振興部長、教育次長）コメント

- ・ 担い手の高齢化、鹿防護柵の状況等、厳しい現状はしっかり受け止めたい。
- ・ 松枯れ木の対応として今年度 1,800 万円ほどかけて伐採の対応をスタートした。
- ・ すでに倒れているものへの対応について、市として費用部分を検討していきたい。担い手の問題については、一部の住民が担うのではなく、地区全体として取組む方向を検討いただきたい。
- ・ 林大城について、今年度から松枯れ木の伐採に着手する予定としている。



(2) P T Aの在り方見直しにおける個人情報の取扱い

ア 参加者

- ・ 未来を担う子供たちの育成に名簿作りは必要不可欠であり、ぜひ市の力をお借りしたい。
- ・ 小学校P T Aでは、見直しにより個人情報提供が難しくなるが、一方で地区の子どもたちへの取組みの大切さを感じる。地区の活動継続のため、ぜひ市としての力添えをお願いしたい。
- ・ 地区の子ども育成の活動は、すべての子どもに平等であるべきと考えている。地区の歴史や文化を学ぶことは子供たちの権利だと思う。地域愛をはぐくんでいくことが我々の願いです。



イ 市長、部局長（教育次長）

- ・ P T Aは、共働き・共育ての環境で保護者、学校が子供たちのためにできることを探すという、難しく不可欠な見直しを進めていただいていると思う。
- ・ 対応例の紹介
 - ① 見直し後、保護者の加入が高い小学校では名簿の取扱いに変更がない例
 - ② 小学校で地区に情報提供してもよい内容を聞き取り、町会に渡す方法②の形が今後のベースになるのではと考える。
- ・ 地域で子供たちを育てる意義を各校長に伝えて、地域行事への参加ができる名簿提供を働きかけていきたい。
- ・ 教育委員会としては、校長会などで事例の情報共有をしていきたいと思う。
- ・ 今後、移住者にも地域と子供の関わり合いの大切さについてしっかり伝えていく取組みが大切と考える。



(3) お船祭り

ア 参加者

- ・ お祭りへの関心減による担い手不足は深刻であり、特に若手の参加が難しくなっていること、また、お船の修理に多額のお金がかかる件は課題と感じている。
- ・ 宵祭りでは町会内を曳航するが、子どもたちを乗せて行っている。子供たちが

喜ぶ姿をみて、大人になって参加してもらえることにつながっていると感じる。

- ・ 盛大なお祭りであるので、市としても広報してもらい、より多くの方に知ってもらえるようにしてほしい。
- ・ 浦安の舞は、10 町会で 12 名が練習し奉納する。皆やる気に満ちている。子供たちやお船を曳航してくる地区の皆さんが安心して暮らせるまちを市長には作ってほしい。
- ・ (小学生) 姉がやっていたのを見て自分もやってみたいと思っていた。練習は大変だったが皆でやり遂げることができて良かった。
- ・ (小学生) お囃子練習は最初難しかったが優しく教えてもらったので覚えることができた。当日はお船が揺れたが楽しめた。また参加したい。
- ・ 市内にお船祭りが浸透していないことを残念に思っている。若い人がいない件は、高校卒業後や就職で地元にはいないのが問題だと感じている。今後は中高生に参加を呼びかける取り組みなどが必要ではないかと思っている。



イ 市長

- ・ 子どもたちの感想を聞いて楽しかったんだろうと感じた。
- ・ 天神祭りでも担い手や主役となる子どもの不足など課題がある。
- ・ ストーリーやお船の彫刻、曳航の勇壮さはオール松本に値するお祭りと感じた。
- ・ 来松する観光客に対してPRして大型連休の見どころの一つしていきたいと思った。
- ・ 担い手について、地区外や市外から参加者を募る仕組みを一緒に考えていきたいと思った。芳川、庄内など子供の多い地区からの親子にお船に乗ってもらえるイベントなど、市内の子どもたちが参加できるような仕組みづくりはどうかと考える。



(4) 美ヶ原温泉

ア 参加者

- ・ 上高地・高山方面だけでなく、美ヶ原高原の有効活用、通年型の観光施設、道路整備をお願いしたい。
- ・ 温泉の整備に苦戦している。入湯税の使い道について温泉の魅力を維持していただけるよう支援をお願いしたい。
- ・ 先日、東京でのイベントにワインを出品し参加させていただいたが、大盛況だったと聞いている。イベントで松本市や山辺のことを知ってもらうことは大変うれしい。
- ・ 美ヶ原温泉には自噴している源泉があり、これを災害時に飲泉、温泉として活用していければと考えているので、市としても施設整備の支援や活用の検討をお願いしたい。



イ 市長

- ・ 今月20日の東京での農産物PRイベントでは、来場者に興味持ってもらった。改めて松本の食が新鮮で高い価値を持つものと実感した。
- ・ 山辺の生食ブドウとワインを多くの人に知らしめることは、経済的価値に繋がっていき、繋がっていかねばならないと感じた。
- ・ 西高東低の話があったが、現在は美ヶ原高原の再生計画を立てて、林道、天狗の露路の整備、美ヶ原台上の冬場の眺望に関する県へ要望など、いくつか取り組んでいる。
- ・ 松本市も観光振興税を導入していく予定でいる。松本独自の観光宿泊環境の充実に使っていきたいと考えている。
- ・ 災害時の温泉利用について、能登半島の地震などを鑑み、有効な話と考えている。危機管理・防災からの観点からも考えていくのもよいと思う。
- ・ 現在、松本は外国人観光客が驚くほど多い。長期滞在やリピーターの獲得などについて、温泉・食文化・伝統行事などをPRして実現していきたい。



6 まとめ

(1) 成田町会長

ア 本日はご苦勞様でした。4テーマの懇談について、地区の皆さんに大いに発言いただき、地区の住民と今後の里山辺の方向性を考える良い機会になったと思う。

イ お忙しい中来ていただいた市長には感謝申し上げます。今後とも地区の発展にご助力をお願いしたい。

ウ この場の設営や参加いただいた関係者にも感謝申し上げたい。

(2) 臥雲市長

ア 長い時間となったがきわめて濃密な、意義深い話が聴けた。我々もなるべく真正面から受け止めて、できることを率直にお伝えしたつもりである。

イ 100%ご要望にお応えはできないが、一步一步前に進めていきたい。

ウ 母親が結婚前に山辺小学校の音楽の教師をしていたことがあり、ここに来るにあたり幼少の頃に学校の話聞いたことを思い出した。

エ 里山辺地区は多様な方々が暮らしている地区と感じているが、今日の地元への愛情・愛着をお聞きして、オール松本でいろいろなことを支えていくことをお伝えして締めくくりにしたい。